



PICK UP 第7期・8期を通じた認定率の変化から見てくること

～ 2015年3月末と2021年3月末の2時点比較 ～

- 全国の介護保険認定者数は、第6期末(2015年3月末)の約606万人から第8期末(2021年3月末)には約682万人へと12.6%増加しました。
- こうした状況を認定率の観点からもう少し詳細にみても、次表のとおりです。

2015年3月末					2021年3月末				
認定率	第1号	前期高齢者	後期高齢者	後期高齢者 占有率	認定率	第1号	前期高齢者	後期高齢者	後期高齢者 占有率
	(a)	(b)	(c)			(a)	(b)	(c)	
全体	17.9%	4.4%	32.6%	48.0%	全体	18.7%	4.3%	32.4%	51.2%
	18.3%					19.1%			

※認定率(全体)は、第2号を含む認定者数の第1号被保険者数に対する比率

※(a)は、第1号認定者数の第1号被保険者数に対する比率

※(b)は、65～74歳の認定者数の65～74歳の被保険者数に対する比率

※(c)は、75歳以上の認定者数の75歳以上の被保険者数に対する比率

- 第2号の認定者を含めた全体の認定率は18.3%から19.1%に上昇、また、第1号だけの認定者率も17.9%から18.7%に上昇しています。
- しかし、この第1号の認定率の状況を前期高齢者・後期高齢者別に分解してみると、前期高齢者の認定率(前期高齢者に占める認定者の比率)は4.4%から4.3%へ、また、後期高齢者の認定率(後期高齢者に占める認定者の比率)も32.6%から32.4%へと、いずれもわずかながら低下していることがわかります。
- つまり、第1号認定者全体の認定率は上昇しているに関わらず、これを構成する2つのグループ(前期高齢者・後期高齢者)に分けてその認定率をみるといずれも低下しているという状況です。
- こうした状況は一見矛盾しているように捉えられがちですが、全体を構成するグループ間の規模(ここでは被保険者数)や発生確率(ここでは認定率)が大きく異なる場合などにしばしば起こり得る現象です。
- したがって、介護予防の取組を進める上で、第1号認定者全体の認定率だけに着目していたのでは実態を掴めない危険性があるということであり、第1号認定者の中でも認定率が全く異なる前期高齢者と後期高齢者それぞれの認定率の変化に注目していくことが重要です。
- また、この6年間で後期高齢者数が第1号被保険者数に占める比率が48.0%から過半数の51.2%へと増加しており、高齢者の中の高齢化が進んでいることが確認できます。
- 上表のとおり、後期高齢者は前期高齢者に比べ、認定率が8倍近く高いグループであり、こうしたグループの占有率が高まることは認定率の上昇要因については介護保険料の高騰化要因となりやすいので、その動向に注目しておくことが重要です。

◆ 第1号被保険者全体の認定率だけでは実態を見誤る危険性がある

⇒ 前期高齢者・後期高齢者別の認定率への着目

◆ 後期高齢者占有率の動向に着目することが重要 ⇒ 認定率等の動向を見極める上で重要

〈第1号被保険者と後期高齢者の認定率の変化状況による保険者特性〉

○第1号被保険者と後期高齢者の認定率の変化状況(上昇・低下)に基づく類型化により、保険者の状況を示すと次のようになっています。

認定率の変化		後期高齢者占有率 の変化(平均)	保険者数	第1号被保険者数 (平均)
第1号	後期高齢者			
上昇	低下	6.42	273	42,833 人
上昇	上昇	0.52	624	23,045 人
低下	低下	-0.72	469	16,396 人
低下	上昇	-5.02	205	9,883 人
全体		0.45	1,571	22,781 人

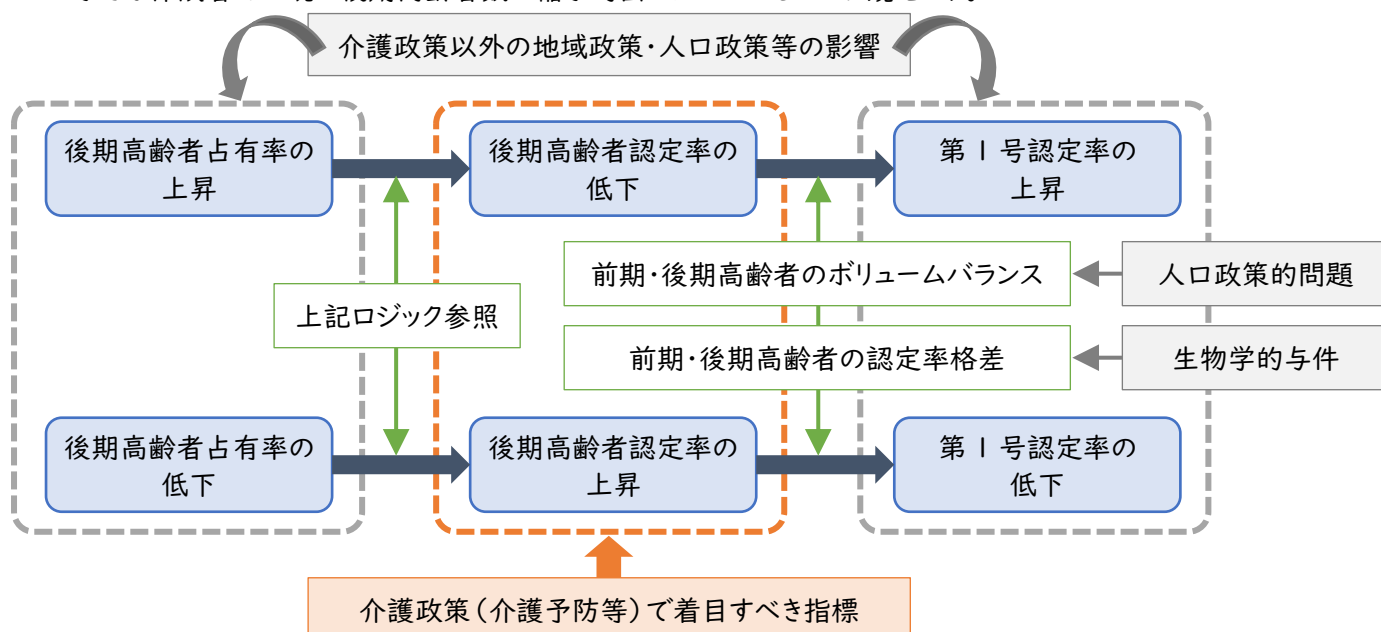
○第1号被保険者と後期高齢者の認定率の変化状況が一致(ともに“上昇”また“低下”)しているのは1,093保険者で、こうした保険者では後期高齢者占有率の変化が比較的小さいことがわかります。

○第1号被保険者の認定率は“上昇”しているにも関わらず、後期高齢者の認定率が“低下”しているのは273保険者で、こうした保険者では後期高齢者占有率の増加が比較的大きく(平均6.42)、逆に、第1号被保険者の認定率は“低下”しているにも関わらず、後期高齢者の認定率が“上昇”しているのは205保険者で、こうした保険者では後期高齢者占有率の減少が比較的大きく(-5.02)になっています。

○後期高齢者占有率の変化状況が後期高齢者の認定率に影響を与えるロジックは次のとおりです。

- ◇後期高齢者占有率が上昇する場合、(大規模な高齢者の転入・転出等がない限り)それは75~79歳といった比較的若い後期高齢者が増加するケースが典型であり、比較的若い後期高齢者の認定率もまた後期高齢者の中では相対的に低いため、こうした集団の増加に伴い、後期高齢者全体の認定率の低下につながる
- ◇後期高齢者占有率が低下する場合、前期高齢者数の増加によるケースを別にすれば、新たな後期高齢者の発生が少ないなど、ほぼ固定化した後期高齢者構成員をベースに減少していくケースが典型であり、こうした場合には後期高齢者内の人口構造がより高齢化するため、これに伴って後期高齢者全体の認定率の上昇につながる

○また、第1号被保険者数に着目すると、後期高齢者占有率の増加が大きい273保険者の平均が42,833人であるのに対し、後期高齢者占有率の減少が大きい205保険者の平均は9,883人となっており、大都市部に多く存在する第1号被保険者数の多い保険者では、高齢者の高齢化も顕著に進行しつつあることが確認できるとともに、比較的規模の小さな保険者では既に後期高齢者数の縮小局面に入っていることが窺えます。



年齢構造に起因する人口政策的問題を捨象した指標として年齢調整認定率があるが、その調整手法は恣意的であり、分析プロセスにおいてはそのベースとなる具体的な年齢構造別認定率(出現率)に着目することが重要かつ合理的である

〈後期高齢者認定率ランキング(第1号被保険者数の規模別)〉

第1号被保険者 (5万人以上)			2021年3月末					変化(2015年⇒2021年)				
			認定率				後期高齢者 占有率	認定率				後期高齢者 占有率
			全体	第1号	前期高齢者	後期高齢者		全体	第1号	前期高齢者	後期高齢者	
1	大阪府	大阪市	26.7%	26.2%	8.2%	42.5%	52.5%	2.69	2.69	0.37	1.65	5.00
2	大阪府	堺市	24.3%	23.9%	6.9%	39.5%	52.3%	2.41	2.49	0.07	-0.88	8.72
3	和歌山県	和歌山市	24.0%	23.6%	5.9%	39.5%	52.9%	0.53	0.59	-0.56	-1.77	5.14
4	京都府	京都市	23.7%	23.3%	5.8%	38.9%	52.9%	2.70	2.70	0.50	1.30	5.54
5	大阪府	東大阪市	24.1%	23.7%	6.9%	38.6%	52.9%	3.53	3.58	0.21	1.32	9.10
6	長崎県	長崎市	22.0%	21.6%	4.8%	38.4%	50.0%	-2.47	-2.33	-0.83	-2.75	-1.53
7	徳島県	徳島市	22.1%	21.7%	5.1%	38.1%	50.4%	-0.70	-0.62	-0.30	-1.99	1.53
8	兵庫県	姫路市	22.6%	22.1%	5.7%	38.1%	50.8%	1.39	1.43	-0.04	-0.69	5.44
9	福岡県	北九州市	22.8%	22.5%	5.6%	37.9%	52.2%	0.88	1.00	-0.03	0.10	2.99
10	北海道	釧路市	22.3%	21.9%	6.1%	37.8%	49.9%	2.18	2.34	0.08	3.60	1.77

5

143	埼玉県	草加市	16.5%	16.0%	4.7%	26.7%	51.4%	3.42	3.39	0.82	1.13	11.13
144	三重県	四日市市	15.6%	15.3%	3.3%	26.7%	51.5%	-0.88	-0.77	-0.69	-3.69	5.55
145	静岡県	富士市	15.5%	15.2%	3.4%	26.5%	50.8%	-0.04	0.09	-0.33	-1.86	4.86
146	埼玉県	上尾市	16.2%	15.8%	4.1%	26.5%	52.1%	2.59	2.63	0.15	0.50	10.41
147	静岡県	沼津市	15.7%	15.4%	3.4%	26.4%	52.3%	1.21	1.22	-0.12	0.25	5.07
148	埼玉県	越谷市	15.6%	15.2%	4.2%	25.9%	50.7%	2.99	3.02	0.35	1.17	10.81
149	埼玉県	春日部市	15.5%	15.1%	4.3%	25.9%	49.9%	1.72	1.79	0.08	-1.77	11.24
150	神奈川県	厚木市	14.8%	14.3%	3.7%	25.8%	48.0%	1.92	1.93	-0.10	-0.05	9.09
151	千葉県	佐倉市	14.4%	14.1%	3.3%	25.4%	48.8%	1.14	1.19	0.0049	-1.99	8.97
152	茨城県	日立市	15.9%	15.5%	3.7%	25.3%	54.6%	1.24	1.26	0.19	-0.84	7.19

第1号被保険者 (1万人以上)			2021年3月末					変化(2015年⇒2021年)				
			認定率				後期高齢者 占有率	認定率				後期高齢者 占有率
			全体	第1号	前期高齢者	後期高齢者		全体	第1号	前期高齢者	後期高齢者	
1	北海道	小樽市	25.9%	25.6%	6.5%	42.3%	53.5%	2.73	2.80	0.52	2.87	3.08
2	広島県	三次市	23.9%	23.6%	4.2%	39.9%	54.5%	-2.55	-2.44	-0.38	-1.99	-3.17
3	愛媛県	四国中央市	23.0%	22.6%	5.0%	39.7%	50.8%	-0.17	-0.07	0.15	0.32	-0.88
4	奈良県	五條市	23.4%	23.1%	5.0%	39.5%	52.3%	0.88	0.98	0.43	2.36	-1.44
5	広島県	安芸高田市	24.1%	23.8%	4.8%	39.4%	54.9%	-0.70	-0.63	0.30	-0.17	-1.92
6	和歌山県	田辺市	24.4%	24.0%	5.5%	39.4%	54.6%	1.05	1.07	-0.01	1.38	0.99
7	長崎県	対馬市	22.2%	21.9%	4.3%	39.4%	50.0%	-2.87	-2.68	-1.43	-0.73	-4.64
8	和歌山県	紀の川市	22.4%	22.0%	4.4%	39.3%	50.6%	-1.39	-1.24	-0.77	-1.94	0.34
9	福岡県	飯塚市	22.0%	21.8%	5.0%	39.2%	49.1%	-0.56	-0.38	-0.53	0.69	-1.36
10	島根県	浜田地区広域行政組合	23.3%	23.1%	4.5%	38.8%	54.2%	-1.29	-1.11	-0.69	-0.30	-1.88

5

581	静岡県	湖西市	12.8%	12.5%	2.4%	22.9%	49.2%	-0.12	-0.15	-0.13	-1.61	3.23
582	埼玉県	三芳町	14.0%	13.6%	3.7%	22.9%	51.9%	2.17	2.23	0.17	-1.10	13.31
583	埼玉県	毛呂山町	13.6%	13.2%	3.7%	22.8%	49.7%	1.67	1.73	0.21	-0.59	9.58
584	山梨県	富士吉田市	13.4%	13.1%	2.6%	22.8%	52.1%	0.00	0.08	0.38	-0.80	1.48
585	静岡県	函南町	13.4%	13.2%	3.4%	22.7%	50.6%	-1.05	-0.86	-0.25	-5.05	7.53
586	千葉県	富里市	11.7%	11.2%	3.3%	22.7%	40.7%	1.07	1.18	0.89	-1.40	5.64
587	茨城県	結城市	12.3%	12.0%	2.5%	22.5%	47.3%	-1.22	-1.16	-0.41	-2.74	1.60
588	愛知県	武豊町	13.4%	13.1%	3.6%	22.4%	50.1%	-0.26	-0.15	-0.09	-5.10	10.29
589	埼玉県	鴻巣市	12.4%	12.0%	3.1%	22.2%	46.9%	-0.98	-0.81	-0.10	-4.66	6.02
590	埼玉県	和光市	11.7%	11.4%	2.5%	21.1%	48.1%	2.18	2.12	0.31	1.93	6.05

第1号被保険者 (5千~1万人)			2021年3月末					変化(2015年⇒2021年)				
			認定率				後期高齢者 占有率	認定率				後期高齢者 占有率
			全体	第1号	前期高齢者	後期高齢者		全体	第1号	前期高齢者	後期高齢者	
1	京都府	宮津市	26.3%	26.1%	5.0%	42.7%	55.8%	1.86	1.89	0.41	3.11	-0.09
2	福島県	浪江町	23.7%	23.3%	4.5%	42.0%	50.2%	-1.71	-1.36	0.02	0.01	-3.66
3	大阪府	岬町	25.3%	25.0%	6.2%	40.9%	54.0%	1.07	1.23	0.17	-2.89	7.19
4	北海道	余市町	24.6%	24.4%	6.1%	40.8%	52.7%	0.34	0.48	0.16	0.84	-0.12
5	兵庫県	佐用町	24.2%	24.0%	4.1%	40.6%	54.5%	1.13	1.26	-0.10	4.62	-3.83
6	広島県	北広島町	24.2%	24.1%	3.6%	40.5%	55.5%	0.88	0.89	-0.66	4.41	-3.97
7	和歌山県	御坊市	24.7%	24.2%	6.5%	40.5%	52.1%	3.40	3.37	0.94	5.43	0.28
8	和歌山県	串本町	24.7%	24.4%	5.1%	40.4%	54.9%	3.45	3.46	1.10	5.13	0.48
9	京都府	与謝野町	24.2%	23.8%	4.4%	39.8%	54.9%	1.91	1.91	-0.38	3.54	0.44
10	岡山県	美咲町	23.6%	23.3%	4.2%	38.7%	55.5%	-1.36	-1.19	-0.31	0.08	-3.22

5

271	三重県	東員町	11.3%	11.1%	2.2%	23.2%	42.4%	-0.51	-0.38	-0.20	-3.47	4.99
272	静岡県	御前崎市	12.7%	12.5%	2.7%	23.1%	47.7%	-0.07	-0.05	0.00	0.78	-2.17
273	宮崎県	新富町	12.9%	12.6%	2.8%	22.7%	49.3%	-1.95	-1.83	-0.68	-2.85	-0.38
274	茨城県	利根町	12.3%	12.1%	2.3%	22.7%	47.9%	1.64	1.62	0.13	-2.46	11.90
275	宮城県	大河原町	12.8%	12.5%	2.8%	22.5%	49.3%	-0.07	0.02	0.39	-0.11	-0.63
276	山梨県	中央市	11.5%	11.3%	2.4%	21.9%	45.5%	-1.03	-0.79	-0.14	-1.78	0.46
277	長野県	軽井沢町	12.0%	11.8%	2.1%	21.7%	49.3%	-0.59	-0.45	-0.07	-2.28	3.24
278	埼玉県	鳩山町	11.8%	11.5%	2.9%	21.0%	47.1%	0.87	0.82	0.41	-3.47	10.17
279	千葉県	酒々井町	12.5%	12.1%	3.9%	20.7%	48.8%	0.90	0.94	0.56	-3.75	11.74
280	愛知県	大口町	12.5%	12.2%	3.3%	20.6%	51.1%	1.48	1.55	0.54	-1.04	9.63

第1号被保険者 (5千人未満)			2021年3月末					変化(2015年⇒2021年)				
			認定率				後期高齢者 占有率	認定率				後期高齢者 占有率
			全体	第1号	前期高齢者	後期高齢者		全体	第1号	前期高齢者	後期高齢者	
1	宮城県	七ヶ宿町	30.4%	30.4%	3.7%	45.5%	63.8%	6.64	6.78	-0.26	13.83	-7.01
2	京都府	伊根町	28.0%	27.7%	3.8%	45.5%	57.3%	3.90	3.69	0.38	9.75	-6.38
3	和歌山県	北山村	31.8%	31.8%	5.1%	43.4%	69.7%	13.61	13.61	1.24	17.89	3.51
4	福島県	葛尾村	24.9%	24.9%	3.6%	43.0%	54.1%	-4.38	-4.18	-2.63	-1.93	-4.98
5	福島県	小野町	25.0%	24.5%	4.0%	42.9%	52.7%	3.97	3.93	0.18	11.42	-7.87
6	福島県	只見町	28.0%	27.8%	3.7%	42.7%	61.8%	7.02	7.06	0.59	11.71	-1.47
7	福島県	大熊町	22.6%	22.1%	5.3%	42.6%	45.0%	-1.73	-1.40	0.02	0.89	-4.99
8	奈良県	天川村	26.4%	26.2%	4.1%	42.5%	57.7%	-0.38	-0.11	2.04	-5.08	4.30
9	北海道	夕張市	28.0%	27.9%	6.2%	42.4%	59.9%	2.89	3.18	0.81	4.62	0.27
10	秋田県	藤里町	25.7%	25.3%	4.8%	41.4%	56.1%	0.18	0.35	-0.75	2.98	-3.00

5

540	三重県	木曾岬町	12.0%	11.9%	3.0%	21.4%	48.1%	-0.28	-0.04	-0.18	-2.65	6.40
541	長野県	御代田町	11.6%	11.4%	2.2%	21.2%	48.4%	-1.10	-1.03	-0.70	-1.65	0.65
542	山梨県	鳴沢村	12.1%	11.8%	3.5%	20.9%	47.4%	2.34	2.16	2.27	0.96	2.73
543	秋田県	大瀧村	13.6%	13.4%	2.8%	20.9%	58.9%	1.07	1.07	1.37	-3.63	11.45
544	北海道	沼田町	13.6%	13.2%	2.9%	20.9%	57.6%	-4.88	-4.90	-0.40	-8.67	1.03
545	長野県	大鹿村	14.7%	14.7%	1.4%	20.7%	69.2%	-0.84	-0.65	-2.46	-0.40	2.20
546	山梨県	山中湖村	10.9%	10.7%	2.6%	20.4%	45.6%	0.37	0.53	0.99	-0.50	1.14
547	大分県	姫島村	11.2%	10.8%	1.0%	20.2%	51.2%	-2.61	-2.79	-0.17	-4.03	-2.80
548	福島県	檜枝岐村	12.7%	12.7%	0.0%	19.3%	66.2%	-2.35	-2.35	0.00	-4.10	1.55
549	北海道	音威子府村	8.5%	8.5%	1.0%	14.5%	55.6%	1.06	1.50	-0.03	3.15	-2.29



重い。身体に錘が付いているような全身の重さに耐えきれず、私はホームのベンチにどかっと腰を下ろした。コロナ禍で早まった終電間際の電車のホームに人はまばらで、その閑散とした雰囲気は気持ちまで物悲しい気持ちにさせ、全身に蔓延る疲れをさらに増幅させる。

現在働く中堅不動産会社では、流りに乗るように、最近折に触れてサステナブル、サステナブルと叫び、社会への貢献をアピールしている。しかし、たとえ社会は持続されたとしても、社会の末端で働く私の私は、このままいくととも今の生活を持續できそうにもない。ちなみに、我が社のパーパスは『すべてのひとに、安らげる居場所を』。まずは自社の社員に安らぎを与えてほしいものだ。

線路を見るときもなく眺めていた私の目前に、電車が滑り込んできた。通過する窓辺の様子から、車内がそれなりに込み合っている様子が分かる。大きな音を立ててドアが開く。座ることはできないなど諦め、乗り込もうとした私の目の前に、突然大男が現れた。車両をふさぐように立つ大男。見上げると外国人だった。疲れのせいかあまり働かない頭で、私は彼をジーッと

見つめてしまったようだ。突然男が満面の笑みで「ハニー！」と言う。一瞬、誰に声をかけているのか分からず、私は固まる。固まる私に向かって、もう一度男が「ハニー！」と言う。後ろを振り向くが誰もいない。どうやら私に声をかけていることで間違いないようだ。半信半疑の気持ちで「どーも」と言いながら、私は会釈をして前を通り過ぎようとした。しかし、それなりに込み合う車両内ではそれ以上奥に進むことはできず、必然的に彼の横に立ち止まる形となる。

そんな私にまた大男が声をかける。「ハニー！君いくつ？」。40代前後に見える大男の、ずいぶん前から友達であったような明るく親し気な雰囲気には押しされ、私は思わず「に、29歳です。」と答えていた。すると男は、車内では場違いな大きな声で「若いねー！」と叫ぶ。車内の視線が一気に私たちに集まることが分かる。外国人からみると日本人は年齢の割に若く見えると聞いたことがあるが、実際の私は一般的な年相応の風貌で、叫ばれるほど若くもない。若い、若いと叫ぶ男の横で、私の中のリスクヘッジのアンテナが作動する。これ以上関わるのはやめようと、私は少しうつぶき加減と

なり時間をやり過ぎすことに決めた。男も隣で携帯電話を操作し始め、私も一息つく。しかし、しばらくすると、「ねえ、見て！」また男の声がある。先ほどに比べ身構えた気持ちで振り向くと、画面には大小2匹の可愛らしい犬の写真が写っていた。不覚にも、少し興味を惹かれる私に男が言う。「(小さい方を指しながら)こっち2歳、(大きい方を指しながら)こっち7か月」「逆じゃないですか!」「はっはっはー!」満足げに笑う男。まんまと男のペースにはまっている。

このままではいけない、距離を保つんだ!自分に言い聞かせる私に、男は一枚の紙を手渡してきた。「ジェームズ英会話教室、月額6,900円レッスン受け放題!」。毎月この金額でいつでもレッスン受けれるよ。いわゆるサブスクね。なるほど、妙に親しげだと思っていたこの大男、いやジェームズは、最近様々な分野に広がっているサブスクリプションサービスによる英会話教室の講師だったのだ。「今日会えたのも一つのご縁、君なら初回は1,000円割引するよ」。ダイバーシティ経営を目指す会社の方針により、近年では外国人の採用も多い。英会話はぜひとも身に付けておきたいところだが、私

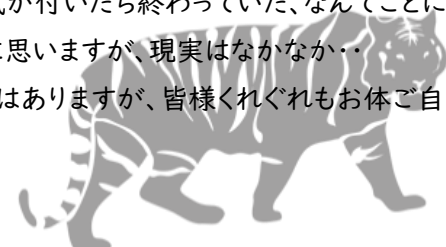
編 集 記



年が明け、コラボレーターも気持ちを新たに「2022 Vo.1」として発行させていただきます。

新年もあっという間に2週間が経過してしまいました。こんな風に1年も気が付いたら終わっていた、なんてことにならないよう、日々を大切に過ごしていきたいなど毎年思っているように思いますが、現実なかなか...

年明けから再び新型コロナウイルスが猛威を振るい大変な状況ではありますが、皆様くれぐれもお体ご自愛ください。本年もよろしく願いいたします。



がジェームズの授業を受けることはないだろう…と思ったのもつかの間、「WHAT ARE YOU WANT TO BE? あなたの夢はなんですか?」まさかの車内での特別授業が始まった! そんな質問無視すればいいと多くの人が思うことだろう。しかし、仮にも中学時代から学生時代の多くの時間を英語の勉強に費やしてきたのだ。ここで何も答えられない様では、これまで関わってきたすべての英語の先生方に顔向けできないではないか。そして誰もが一度は聞かれたことがあるであろうお決まりの質問。「ア、アイオントウービニア ドルフィントレナー」私は小学生時代に何度も練習したことのある、当時の自分の夢をジェームズ講師に伝えた。「グッド、グッド、グッド!」満足げなジェームズ講師。「I want to be a President」お返しに、壮大な自らの夢を披露してくれた。さらにジェームズ講師の授業は続く。「Yes We can!」

「Repeat after me. Yes We can!」当時有名となったお決まりの指を立てるポーズとともに、復唱を命じられる。「イエス ウィーキャン…」完全にジェームズ講師の生徒と化した私は、ポーズまで真似をして答える。「グッド、グッド、グッド!」ここまでくると、ジェームズ講師の大きな声も社内の冷たい視線も、あまり気にならなくなってくるから不思議だ。先ほどまでの重い身体の疲れも取れてきたようだ。「きみどこまで乗るの?」しかし、これ以上車内の人々にジェームズの仲間のようには思われてはたまらない。私は咄嗟に元々降りるべき駅の2つほど手前の駅を答える。「僕はその一つ手前だよ。ざんねん」。なんとということか、ジェームズは私をこの冷たい車内に残し、一人先に降りてしまうという。絶望する私の気持ちとは裏腹に、電車はあつという間にジェームズの降りる駅に到着した。

一人残されるのは避けたいが、この特別授業が終わるのならもうこの際何でもよい。開き直った私の耳に、ジェームズの明るい声が言う「ねえ! 見て!」恐る恐る顔を上げ、ジェームズの指さす方を見る。「見て! あの頭! すごいねー!」車内の視線も一気にジェームズの指さす頭を集まる。見ると、一つ先のドアの前に大きなアフロヘアの男性が、明らかに自分のことを言われていると分かっているだろう複雑な表情でたたずんでいた。「すごいねー、エモいねー!」確かに、頭と同じくらい大きなそのアフロヘアは、ジェームズにとっては心動かされるものだったのかもしれない。最後にアフロお兄さんをも巻き込んだジェームズは、最後まで明るく「それじゃあねー! バイバイ!」といって電車を降り、特別授業は終了した。無意味に2つ手前の駅で車両を降りるまで、私がアフロお兄さんの方に目を向けられなかったことは、言うまでもない。

サブスクリプション

一定料金を払えば、期間内に何度も商品やサービスを利用できるビジネスモデル。いわゆる「定額制」サービスのこと。音楽や動画配信サービスが有名であるが、近年では自動車やファッション、雑誌購読など様々な分野に広がっています。

サステナブル (サステイナブル)

直訳すると、「持続可能な」。【維持できる】、【続けていける】などを意味する形容詞として使われています。サステナブルな社会に向けた目標として SDGsが国連で採択されたことで最近によく見聞きするようになりました。

ダイバーシティ

多様性のこと。集団において、年齢、性別、人種、宗教、趣味嗜好等さまざまな属性の人が集まった状態。

パーパス

直訳すると「目的、意図」と訳しますが、近年では、経営戦略やブランディングのキーワードとして用いられることがあり、企業や組織、個人の「存在意義」のことを意味します。

エモい

なんとも言い表せず心が動かされた時に使える便利な言葉です。私はいまいち使いどころがわかりませんが…

リスクヘッジ

危険を予測し、それを避けるための対策をとること。

